



KEIO
LEADING GRADUATE SCHOOL
PROGRAM



Keio University

2015年3月4日(水) 13:00~17:00
慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

超 成熟社会

超成熟社会

超成熟社会とは、経済や社会制度が発展し、必要な物やサービスは満たされ、自由で便利な生活はできるが、成長がピークに達し、それにともない、価値観が人々の間で多様化した社会である。

日本の現状

日本では、急速な少子高齢化の問題がこれに加わり、さらに問題が複雑化している。日本が諸外国に先駆けて直面するこの社会の問題を解決することが急務となっている。

生活の質(QOL)

これまでの量的満足度から、生活の質(QOL)を高めることに焦点が移っており、量から質への転換という価値観の大きな変化(パラダイムシフト)が社会に起きてくる。

新たなチャンス

超成熟社会は、決して負の要因だけではなく、最新の技術を応用した新しい社会システム、教育やコミュニティーのあり方についての再考、新たな利便性などを生み出すチャンスとも位置付けられる。



超成熟社会発展の サイエンス

2014年度 学生フォーラム



主催

慶應義塾大学
博士課程教育リーディングプログラム
オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」

超成熟社会を迎える今後の日本について

20世紀は高度産業化社会の発展の時代でしたが、21世紀に入り一転して、1)急速な少子高齢化の進展、2)低成長経済の定着等という、いわば超成熟社会に先進国のなかで日本が最初に突入しています。そのような時代に、新しい社会の仕組みを創り、新しい産業を発展させ、国際社会を先導しながら超成熟社会の持続的な発展のシナリオをどのように描くのかを、社会で活躍する方々をスピーカーとしてお招きし、本プログラムの学生が発表と討論を繰り広げます。

プログラム



神成文彦

13:00

開会挨拶 神成文彦
(慶應義塾大学理工学部教授)



秋山弘子

13:10

講演1 秋山弘子氏
(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)



駒村康平

13:55

講演2 駒村康平
(慶應義塾大学経済学部教授)



Zoran Petrović

14:40

コーヒーブレイク、ポスターセッション
評価員: Prof. Zoran Petrović
(Institute of Physics University of Belgrade and
Serbian Academy of Sciences and Arts)



山中直明

15:00

RA発表
テーマ:
医療、人間行動心理、コミュニティ、産業政策、
エネルギー、農業からそれぞれ1名



永里善彦

16:00

パネルディスカッション
超成熟社会を迎える今後の日本について
モデレーター: 山中直明 (慶應義塾大学理工学部教授)
パネリスト: 永里善彦氏 (経団連産学官連携推進部会長)
村上由美子氏 (OECD東京センター所長)
RA代表3名



村上由美子

16:55

閉会挨拶

17:00

閉会

※閉会後、キャンパス内で懇親会およびポスターセッション2を開催致します。

問い合わせ

慶應義塾大学オールラウンド型リーディングプログラム事務局 forum@lua3.keio.ac.jp または 045-566-1497

アクセス

JR山の手・京浜東北線「田町駅」徒歩8分
都営三田線・浅草線「三田駅」徒歩7分
都営大江戸線「赤羽橋駅」徒歩8分



申し込み方法

参加ご希望の方は
<http://plgs.keio.ac.jp/>
よりウェブサイト内の参加案内に
したがってお申込みください

